

パチンコ業界のニセモノ護身用品の排除が完了しました

■平成25年2月1日に株式会社光新星が日本護身用品協会に加盟しました。これによりパチンコ業界部備品商社のほぼ全てが日本護身用品協会の加盟店となりました。下記の加盟店の配下には全国各地に支店・営業所・二次商社があり、その営業拠点の総計は数100箇所に及び全国のパチンコ店舗を100%カバーしています。

各商社は日本護身用品協会に加盟することで日本護身用品協会認定品の取扱を開始しており、その結果ニセ物スタンガンやニセ物催涙スプレーなど形式上ですがパチンコ業界からの排除が完了しました。

■これまでパチンコ業界においても現実問題としてニセ物護身用品が流通していました。パチンコ店は多額の現金を扱い、強盗やゴト師問題などトラブルのリスクが大きいため、特別に高いレベルでのセキュリティ意識と対策が必須です。このような状況下において、役に立たないニセ物護身用品の流通はパチンコ店の保安・安全上大きな問題であり障壁でした。今回のニセモノ護身用品排除完了宣言によって、パチンコ業界におけるオモチャ護身用品によるセキュリティレベル低下の問題が解決できました。

実質的にごく一部では業務上の都合によってニセ物護身用品の販売を継続している状況ではありますが、これらのニセ物スタンガンやニセ物催涙スプレーも今後時間の経過とともに排除・追放が進みます。

■日本護身用品協会加盟のパチンコ部備品商社は次の通りです。

(順不同・敬称略)

- ・北海道：株式会社アルク
- ・東京：[株式会社大平商会](#)
- ・神奈川：[有限会社キットオール](#)
- ・愛知：[日本ぱちんこ部品株式会社](#)
- ・愛知：[株式会社丸加](#)
- ・愛知：有限会社ワイ・エス・ビー進和
- ・大阪：[錦商事株式会社](#)
- ・大阪：[株式会社光新星](#)

- ・大 阪：[株式会社ジー・スリー](#)
- ・福 岡：[株式会社ナカイ](#)

- 日本護身用品協会発足から1年6ヶ月と云うスピードでパチンコ業界が結束してコンプライアンス（法令順守・社会貢献）に積極的に対処したことは、警察庁管轄の業界では素晴らしいことであり賞賛に値します。それぞれの商社が日本護身用品協会の掲げる「護身用品悪用撲滅」「ニセモノ護身用品の排除」に賛同し、加盟参加することで日本のパチンコ業界において真の安全を確立するという確たる信念と責任感を証明しました。これらのパチンコ部備品商社は日本のパチンコ業界の保安体勢を主導する立場であるとう認識を新たにし、防犯・安全に携わる者として責任を全うする姿勢へと大きな変貌を遂げました。日本国内の業界レベルで、一つの業界全体において保安・安全重視に大きく方向転換するという偉業は、実務に携わる個々の部備品商社の志の高さと崇高な決意の結果です。また、業界全体に日本護身用品協会の存在価値と実効力が浸透したという意味においても大きな価値のあることです。
- パチンコ業界におけるパチンコ店への護身用品供給は、主にパチンコ部備品商社を通して行われます。今回ほぼ全ての商社の日本護身用品協会加盟により、日本の全てのパチンコ店が日本護身用品協会に加盟している協会加盟商社から、日本護身用品協会認定品である本物の護身用品を調達できる仕組みが実現しました。日本全国のパチンコ店様は今後の護身用品の調達に関して、安心してご利用されている部備品商社に日本護身用品協会認定品をご用命頂けます。
- なお、業界で比較するとパチンコ業界に比べ警備業界や防犯カメラ業界、カギ専門店の業界などでは未だにニセ物護身用品の認識が甘く、業界の保安・安全維持における責任ある立場としての自覚が皆無に等しいため業界の体質が問われます。これらの業界ではニセモノ護身用品を何の危機意識もなく専門家という立場を利用して販売しているケースが主流であり、利用するユーザーを危険に晒しています。勿論一部の業者はいち早く保安・安全維持の重要性と自身の責任ある立場を理解し、日本護身用品協会に加盟して率先垂範を実行していますが、まだまだ全体的な進捗率は全く不十分です。大半の警備業界や防犯カメラ業界、カギ専門店の業者は日本護身用品協会の主旨と意義を理解しようとせず、売れば良いという防犯専門家として看過できない姿勢でニセモノ護身用品の販売を継続しているのが現状です。

- 日本護身用品協会では今回のパチンコ業界における日本護身用品協会の浸透とニセモノ護身用品の排除完了を機に、さらに多方面の業界に対しても働きかけを強めて参ります。日本護身用品協会の主旨と役割・意義の十分な説明と周知徹底に努め、それぞれの業界において悪用防止とニセモノ護身用品の排除を推し進め、日本社会の真の安全確立に向かい邁進致します。